

来月の消費予報

1月の消費意欲指数は、年末の行事やセールの前倒しなどの影響で前月比大幅減。食・衣を中心に多くのカテゴリーで消費意向低下

株式会社博報堂(本社・東京)のシンクタンク博報堂生活総合研究所は、20～69歳の男女1,500名を対象に「来月の消費意欲」を点数化してもらうなど、消費の先行きに関する調査を毎月実施。その結果を「来月の消費予報」として発表しています。

※12月1-4日に調査(詳細はP5)

2026年1月の消費意欲指数は48.1点。前月比では-4.8ptと大きく低下し、前年比でも-1.7ptと低下しました。

1月の消費意欲指数



【前月比】

-4.8 ポイント

【前年比】

-1.7 ポイント

■：前月比/前年比で上昇 ■：前月比/前年比で下降

「消費意欲が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(1月)の消費意欲は何点くらいですか?」と質問。

カテゴリー別 消費意向

【前月比】



【前年比】



★ UP：前月比/前年比で20人以上増加 ● DOWN：前月比/前年比で20人以上減少

「来月(1月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスがありますか?」という質問に「ある」と回答した人により、具体的に「買いたいモノ・利用したいサービス」を選んでもらった結果を前月/前年と比較して作成。

1月のポイント

Point1 引き締め意識の影響で消費意欲は前月比大幅減。ブラックフライデーの影響も

クリスマスや年末を終えた1月は、例年消費意欲指数が低下する月です。今年も前月比で-4.8ptと大きく低下し、前年比でも-1.7ptと低下しています。

消費意欲指数の理由(自由回答)をみると、前月と比べて、消費にポジティブな回答(12月597件→1月448件)は大きく減少し、ネガティブな回答(12月694件→1月819件)は大きく増加しました。具体的には、ポジティブな回答で、「セールがある・安売り・福袋(12月42件→1月135件)」が大きく増加した一方で、「(クリスマス・年末年始など)季節的な意欲向上(12月313件→1月149件)」が大きく減少し、「(ボーナスなどで)金銭的に余裕がある(12月79件→1月26件)」も減少しています。

ネガティブな回答では、「今月までに多く使ったのでセーブ(12月46件→1月105件)」や「欲しいものがない・意欲がない(12月305件→1月380件)」が増加しました。

前年と比べると、消費にポジティブな回答(25年1月438件→26年1月448件)、ネガティブな回答(25年1月819件→26年1月819件)はともに横ばいとなっています。具体的には、ポジティブな回答で、「セールがある・安売り・福袋(25年1月94件→26年1月135件)」が増加し、「(ボーナスなどで)金銭的に余裕がある(25年1月50件→26年1月26件)」が減少しています。ネガティブな回答では、「欲しいものがない・意欲がない(25年1月351件→26年1月380件)」が増加しています。また、「物価高・値上げ・円安」は、前月比、前年比ともに減少しており、直近1年の最低値となりました(25年1月91件→25年12月91件→26年1月76件)。初売りや福袋などへの意欲はあるものの、欲しいものがないという意見も高まっています。そのため、クリスマスや年末の反動に加えて、ブラックフライデーなどセール期間の前倒しにより、前月と比べて控えめな消費意欲となることが予想されます。

Point2 消費意向は、食・衣関連など多くのカテゴリーで前月比減

「特に買いたいモノ・利用したいサービスがある」人の割合は30.1%で、前月比で-7.8ptと大きく低下し、前年比でも-0.8ptとやや低下しました。

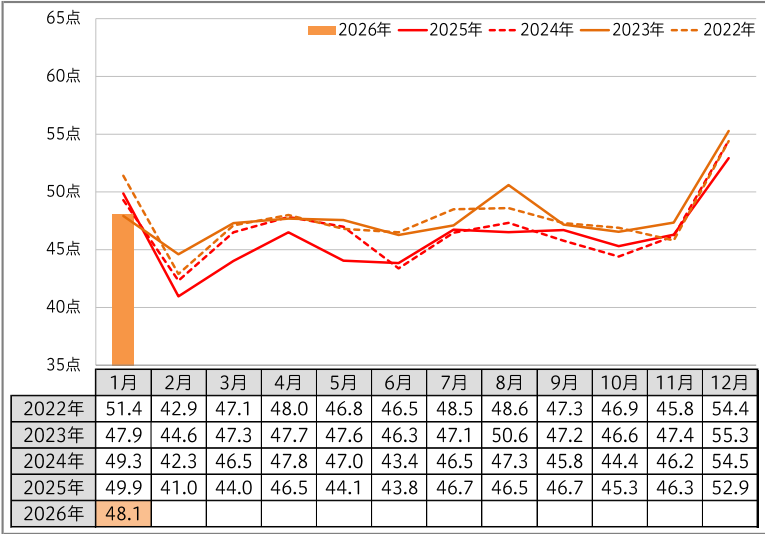
16カテゴリー別の消費意向をみると、前月比では「食品」「外食」「ファッション」など、10カテゴリーが20件以上減少しています。前年比では「旅行」「日用品」「飲料」「化粧品」が20件以上減少しました。年末に意向が高まった食やファッションを中心に、例年通り、前月に比べて多くのカテゴリーで消費意向が落ち着く月となりそうです。

消費意欲指数

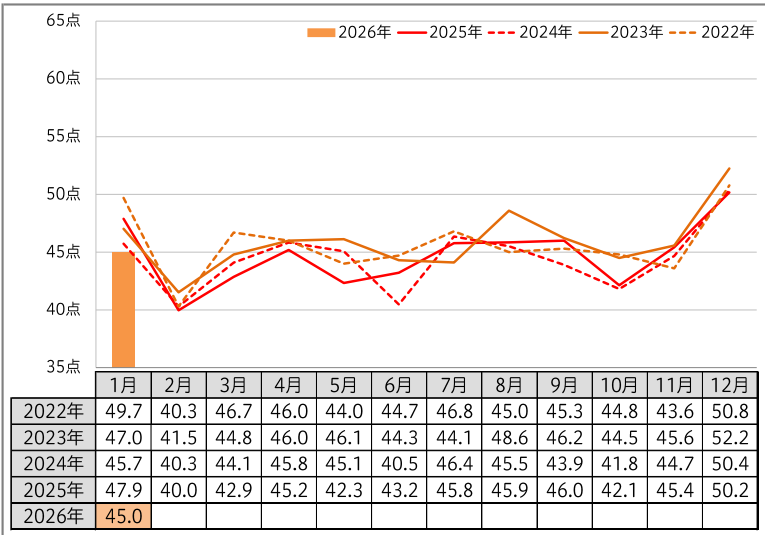
■ 時系列グラフ

Q. 消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(1月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)

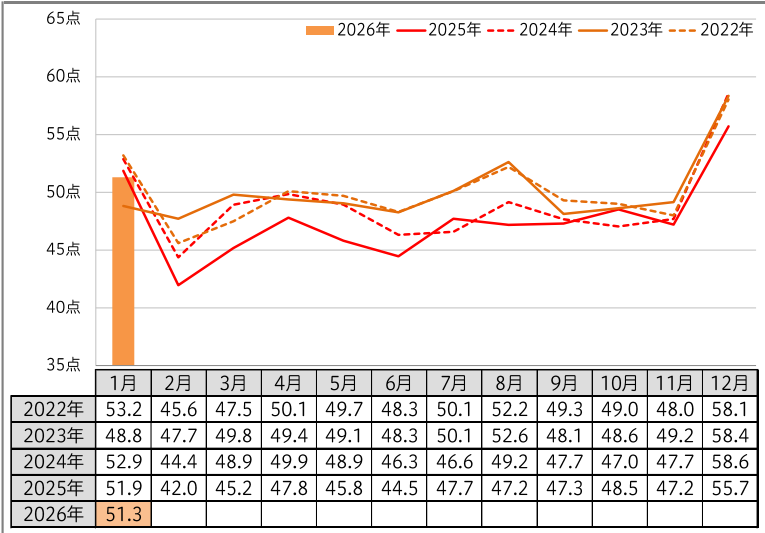
【全体】



【男性】



【女性】



消費意欲指数

性別/年代別比較

							(pt)	
							26年1月比較	
	25年8月	25年9月	25年10月	25年11月	25年12月	26年1月	前月比	前年比
全体	46.5	46.7	45.3	46.3	52.9	48.1	-4.8	-1.7
男性	45.9	46.0	42.1	45.4	50.2	45.0	-5.1	-2.9
女性	47.2	47.3	48.5	47.2	55.7	51.3	-4.5	-0.6
20代	50.7	52.1	47.4	51.9	59.5	52.8	-6.7	-2.8
30代	50.0	46.6	44.9	47.9	54.9	50.6	-4.4	-2.4
40代	45.2	45.2	45.5	44.7	52.5	48.5	-4.0	-2.2
50代	42.8	44.4	43.9	43.2	49.9	44.2	-5.8	-1.1
60代	45.9	46.7	45.6	45.8	49.6	46.5	-3.1	-0.1

※調査では小数第2位まで集計していますが、本稿は小数第1位まで(小数第2位を四捨五入)を表示しているため、点数差は見た目の数値と異なる場合があります。

+3pt以上の増加
-3pt以上の減少

消費意欲指数の理由(抜粋)

Q.(消費意欲の点数について)あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

<生活者の声 ～消費意欲指数の理由～【セールがある・安売り・福袋】>

- ・大手飲食チェーンなど、福袋が多く販売される時期だから(85点・男性20歳・東京都)
- ・福袋やらの誘惑が多いと思うので(70点・男性36歳・大阪府)
- ・新春セールがあるから、お値打ち商品を買いたい(80点・男性47歳・愛知県)
- ・アウトレットモールでの正月特売があり毎年行っている(100点・男性53歳・愛知県)
- ・初売りに行くかもしれないから(80点・男性63歳・東京都)
- ・年始なのでセールとかあると思うのでお金を使って、その後、仕事を頑張る気持ちにしたい！(80点・女性27歳・愛知県)
- ・12月は支出を抑え気味なので反動で買いたくなると思う。正月セールや安売りなどの言葉が飛び交う時期なのでそれに乗せられると思う(80点・女性35歳・大阪府)
- ・特に欲しいものは思い浮かばないが、冬物バーゲンや福袋の販売があるので、何かしらは購入したいと思うので(80点・女性42歳・兵庫県)
- ・バーゲン期なので、買うのを迷っていた品が安くなっていたり、掘り出し物を見つけたりしたら、買う確率が高まるから(95点・女性56歳・東京都)
- ・1月は冬物セールがスタートするので購入意欲が高まるし、毎年買い物をよくしている気がする(70点・女性66歳・東京都)

<生活者の声 ～消費意欲指数の理由～【欲しいものがない・すでに買った】>

- ・ブラックフライデーで買ったから(20点・男性26歳・愛知県)
- ・ブラックフライデーで欲しいもの一通りあれこれ買い込んだので、そこまで欲しいものはないはず(40点・男性38歳・東京都)
- ・11月末や12月前半で、欲しいものは購入したから(30点・男性48歳・大阪府)
- ・12月に買い物してしまうから(20点・男性58歳・埼玉県)
- ・12月中に買いたいもの、利用したいものはほぼ達成する予定。1月はゆったり、のんびりします(20点・男性65歳・兵庫県)
- ・ブラックフライデーでたくさん買ったから(30点・女性24歳・東京都)
- ・クリスマスに旅行するので物欲は12月で収まりそうだから(20点・女性38歳・愛知県)
- ・12月頭までのセールで欲しいものは手に入れているから(10点・女性49歳・大阪府)
- ・年末にいろいろ買うことが多いから(30点・女性54歳・神奈川県)
- ・今年はかなり欲しいものは買ってきたから意欲はあまりない(30点・女性67歳・愛知県)

()内点数:消費意欲指数

特に買いたいモノ・サービス

■ 特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人の割合

Q. あなたが来月(1月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)

	2025年1月(%)	前月比(pt)	前年比(pt)
全体	30.1	- 7.8	- 0.8
男性	27.0	- 8.4	- 1.5
女性	33.2	- 7.3	± 0

■ 買いたいモノ・利用したいサービス

(特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人ベース)

Q. 特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

【全体】(451人)

参考 : 男性(204人)

参考 : 女性(247人)

順位	カテゴリー	1月 (人数)	前月比	前年比
1	食品	240	-78	±0
2	ファッション	232	-61	-11
3	外食	200	-78	-10
4	旅行	161	-48	-46
5	飲料	151	-46	-22
6	書籍・エンタメ	135	-19	-1
7	化粧品	112	-33	-22
8	レジャー	103	-27	-12
9	日用品	97	-45	-23
10	家電・A V	93	-12	-1
11	理美容	92	-57	-11
12	装飾品	74	-10	-11
13	スマートフォン・携帯電話	71	-11	+12
14	インテリア用品	57	-28	-12
15	パソコン・タブレット・周辺機器	51	-15	-11
16	車・バイク	46	-6	-2

順位	カテゴリー	1月 (人数)	前月比	前年比
1	食品	94	-32	-16
2	ファッション	86	-31	-14
3	外食	81	-35	-19
4	旅行	71	-22	-39
5	書籍・エンタメ	69	-2	-5
6	飲料	66	-17	-25
7	家電・A V	49	-16	-2
8	スマートフォン・携帯電話	42	-12	+4
9	レジャー	41	-13	-19
10	日用品	36	-11	-19
11	車・バイク	34	±0	-5
12	パソコン・タブレット・周辺機器	32	-20	-17
13	装飾品	30	-7	-9
14	理美容	27	-7	-5
15	化粧品	26	±0	-2
16	インテリア用品	25	-5	-7

順位	カテゴリー	1月 (人数)	前月比	前年比
1	食品	146	-46	+16
1	ファッション	146	-30	+3
3	外食	119	-43	+9
4	旅行	90	-26	-7
5	化粧品	86	-33	-20
6	飲料	85	-29	+3
7	書籍・エンタメ	66	-17	+4
8	理美容	65	-50	-6
9	レジャー	62	-14	+7
10	日用品	61	-34	-4
11	家電・A V	44	+4	+1
11	装飾品	44	-3	-2
13	インテリア用品	32	-23	-5
14	スマートフォン・携帯電話	29	+1	+8
15	パソコン・タブレット・周辺機器	19	+5	+6
16	車・バイク	12	-6	+3

<全体にのみ下記基準で色付け>

- :前月比/前年比で20人以上増加
- :前月比/前年比で20人以上減少

※男女別ランキングは、母数が少ないため参考値

調査概要

■ 質問項目(質問文)

[消費意欲指数]

消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(1月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)

また、あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

[特に買いたいモノ・利用したいサービス]

あなたが来月(1月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)

特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

調査概要 生活総研が、生活者の気持ちの変化を読み解くために、生活に関する意識を指数(100点満点評価)で回答してもらうものです。

調査地域 ①首都40km圏 ②名古屋40km圏 ③阪神30km圏

調査対象者 20～69歳の男女

対象者割付 調査地域①～③各500人を各地域の人口構成比(性年代)に合わせ割付

調査人数 合計1,500人

	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	125	139	167	190	135	756
女性	123	134	163	188	136	744
合計	248	273	330	378	271	1,500

調査方法 インターネット調査

調査時期 2025年12月1日(月)～4日(木) (2012年5月から調査開始/毎月上旬に実査)

調査機関 QO株式会社

<備考>

・「来月の消費予報」は、毎月下旬に翌月の消費意欲指数を発表いたします。

問い合わせ先 博報堂生活総合研究所(近藤・加藤) 03-6447-2992 seikatsusoken.info@hakuholdo.co.jp
株式会社博報堂 広報室(成田・白川・大貫) 03-6441-6161 koho.mail@hakuholdo.co.jp

データ公開 2012年5月から最新月までの「消費意欲指数(点)」と「特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人の割合(%)」について、調査データをご希望の方は生活総研サイトの「お問い合わせ」よりご連絡ください